竹馬会情報紙
ホームページアドレス
http://chikubakai.com

はずみ
CHIKUBAKAI

竹馬会キャラクター
なべムシ君

ひまわりの種を収穫

９月５日(土)、老人クラブ「絆の会」のみなさんや中津東高マーケティング部員など約40人でひまわりの種の収穫作業を行ないました。

今年は、お盆過ぎまで満開の花を楽しむことが出来ましたが、その後の台風15号の影響で全部倒れてしまい、地面まで倒れてしまったのは殆ど腐っていました。そんな中からも２時間半の作業でいいものだけ、約60kgの種を収穫することが出来ました。

倒れた茎では杖作りは殆ど無理のようでしたが、それでも30本くらいは何とか確保しました。

ところが、今年は、天気不順が続き、杖もうまく乾燥が出来ません。半分は乾燥出来る前に腐ってしまいました。種も、持って帰ってから雨続きで、車庫に広げて干しましたが、天日干しが出来たのは３日後くらいからでした。その後は、天気も回復し、なんとか福島に送られる種になりました。米袋で２袋は送れそうです。

ひまわりの種取り作業から一週間後の９月12日（土）に黒沢憲次さんが、畑を耕してくれました。大型トラクターでの耕起で見違えるようにきれいになりました。来年の種まきまで時々お願いします。

今後の予定

■コスモス園草刈り
９月２０日（日）午前５時４５分　活性化センター集合
（現地６時から）

■河川敷草刈り
９月２０日（日）コスモス園の草刈り終了後
※今回は切るだけです。

■秋のスタミナ会
９月２０日（日）午後５時～　佐知庵
※ひまわりやお盆の行事も終わりましたので、秋のスタミナ会を佐知庵で行います。草刈り参加の有無にかかわらず多くの方の参加をお待ちしています。

■中津東高マーケティング部　秋野菜の種まき
９月２６日（土）午前９時～　現地
※マーケティング部が野菜作りを始めて１周年です。

“はずみ”が２００号に！

「はずみ」を手にする相良卓紀事務局長

【９月１１日大分合同新聞】

地域一体 200号達成

三光　住民グループの情報紙

中津市三光佐知の住民グループ「竹馬会」の情報紙「はずみ」が8月で200号に達した。1999年4月から毎月欠かさず発行しており、その間に「記田バレーボール大会」などユニークな活動を記録してきた。編集を担当する事務局長の相良卓紀さん(59)は「私が元気な限りは出し続けたい」と決意を新たにしている。

「はずみ」はA4判1枚。当初は文字のみだったが、パソコンを使ってビジュアル化を進めた。地区内の約50世帯、70人に配布。竹馬会のホームページにH45号以降を掲載している。内容は行事や会の活動に対する表彰の報告、今後の予定など。「毎月がしらニュースがあり、話題に事欠かない。家族にチェックしてもらいながら楽しんで作っている」と相良さん。

会員の高齢化のため、記田バレーボール大会は2年前に25回目で幕を下ろした。その後は東日本大震災の被災地を支援する「福島ひまわり里親プロジェクト」に取り組むなど、今も地域一体となった活動を続けている。

相良さんは「はずみを優に張ったり、大事にファイルしてくれている会員もいて、やりがいは大きい。読み返せば会の歴史は一目で分かるので、これからも活動を丹念に記録していきたい」と話している。（三浦誠一）

行事や活動 丹念に記録

１９９９年４月に竹馬会行事の連絡用に発行した「はずみ」が前回の８月号で２００号になりました。毎月、竹馬会のホームページをチェックしている大分合同新聞の中津支社長が取材に来てくれました。

３００号までには、これからまた８年かかります。